

研究結果報告書

中国人学生による日本留学の教育的機能に関する研究

所属：北京師範大学

役職：准教授

氏名：姜星海

経済の国際化の波に従い、教育も国際化がますます進化され、閉鎖され
た一国の教育は存在しないといっても過言ではない。教育の国際化の指標
として、留学の教育も発展してきた。日本への中国人の留学生の数をみ
ると、1978年には23人、2009年にはなんと79082人になっている。本研究の文
献による分析によれば、留学規模の拡大には、日本政府の留学推進政策と密
接な関連があると判明された。このような背景を踏まえて、本研究は日本留
学教育の機能を研究することにする。

留学教育の機能に関する研究が、中国の教育研究界では、20世紀90年代から、
留視文点社会新、個人がの欠
点から見ることにした。まず、社会的機能をみると、留学教育は中国の社
会政治、経済発展に影響を与えてきた。文化的には、文化の継承、選択、創
造など、個人は知的面で新しい研究方法を身に覚え、新しい研究動向を把握
することが可能になり、また帰国就職及び昇進も有利になっている。しか
し、これらの研究は個人の留学生活の関連から留学の機能を考察してい
ないのがその欠陥である。

留学教育も歴史的に存在するので、本研究では、清末から民国の始まり
までの時期を選んで、職業生涯、日常交流の視点から文献資料によって、留
学の機能を考察した。分析結果によれば、日本で日常生活交流は、個人の
社会化に重要な影響を与えており、個人の再生産を前提にして、個人の社
会化は中国の近代化に影響を与えているのである。個人の職業生涯は、個人
の家庭背景、教育背景の影響を受けている。留学教育の個人の職業生涯に
与える影響は、時期的限界性が現れるが、社会の変遷に従って進化してい
る。

本研究では、他に現在の一つの日本留学生の事例を選んで分析してみ
ると、学内での指導教員との交流、院生同士の交流、学外では民間での交
流は、留学生の日中文化交流への貢献、個人の職業生活に長期的な影響
を与えていることが明らかになった。

要するに、日本に留学教育において、日本での日常生活の交流が日本留
学教育の機能に影響を与えている。

研究成果の公表について

口頭発表 （題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

論文 （題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

「我国留学之教育功能研究动态的分析」, 姜星海、茶本义, 『中国高教研究』, 2008年3月。

「中日当代外国留学生政策比较」, 姜星海、茶本义, 『外国教育研究』, 2008年4月。

書籍 （題名・著者名・出版社・発行時期等）